

万物の音が聞こえる：Dの血（芸名）



お笑いの新ジャンル、なりきりポエム万物弁論大会ネタでR-1グランプリを目指す。

★

やあ、みんな。ぼくは便器だよ。役所の4階の男子トイレの4つ並んだ奥から2番目。ぼくって、ここじゃ一番の人気者なんだ。なぜか知らないけど、ここに来る人の3人に2人は、迷わず一直線にぼくのところへやってくるんだ。でも、人気者だからって全然嬉しくないよ。だって、ぼくの仕事は便器だもん。

★★

あつ、2人、お客さんだ。・・・年配の方がぼくのところに来て、若い方は、・・・まだ20代かな、入口に一番近い手摺付きの便器君の前に立ったよ。やっぱり並んでするのは気が引けるよね。おじさんってのは、若さが気になるもんだから。ここは若い者が気を利かせなきゃ。・・・ちょっとおー、おじさん、そんなに近づいて来ないでよ。こっちは顔そむけることもできないんだからさあ。嫌だつてば、近いつ、近いつて、もう。最近、やたらググッと迫ってくる人がいてねー。どうも、ぼくの頭の上の方に貼り紙がしてあって、そこに「一步前進願います」って書いてあるらしいんだ。まったく、こっちの気持ちも考えてくれよ。そういえばこの間、掃除のおばちゃんがぼくの前の床にモップかけながらボヤいてたな。「なんてバカな貼り紙だい、こりゃ。意味ない。管財課の職員がこんなことで無駄な時間使っててどうすんのさ。だいたい、この貼り紙するのに実施伺いの書類回して、課長以下ずらりとハンコついたって言うんだから。骨太の改革なんてなくていいから、貼り紙とか伺いとか、そんなのをさっさと止めてもらいたいもんだわ」って。あーあ確かに、百年の祭り。意味分かんないけど、そんな感じ。

あれあれつ、若い子の様子がなんだかおかしいよ。ちよつ、ちよおつと一何してんだ君い、何で縁の内側のギリギリのところを狙うんだよお。まん中を狙えよ。飛び散ってるつてば。けつ、いいんだよ、そんなもん撃ち落とさなくつても。

あれ、今度はこっちのおじさん。なに？何ぶつぶつ言ってるの。うん、「リポD飲めばリポDのチョコB飲めばチョコBの臭いす オシッコのありがたさ」って、くだらねーこと言ってるじゃねーよ。はやくどけー。二度と来るなー。

★★★

夜のトイレは、我ながら寂しいね。訪れる人も絶えて、静かで、暗い。仕事が仕事だけに、人が来るのもいやだけど、来ないと、それはそれでまた寂しい。そんな夜は、いつも歌を詠んで過ごしてるんだ。「急ぐとも ころ静かに手を添えて 外にこぼすな まつたけのつゆ」・・・いや、最後は「あさがおのつゆ」の方がきれいだ、なんて推敲しながら。やまと言葉はきれいだ。a bさんご、だ。トイレはできるだけきれいに使おうじゃないか、なあ、みんな。

★★★★

あの一、たまに急に電気が点いたりして、ドキッとすることってありません？

あれ、一番奥の便器子さん。ドキッとすること、もちろんありますよ。そう言えば、ほら、ひと月ほど前の夜の事件、覚えてます？ええ、あれ衝撃だったな。あの若者。急に入ってきて、まさかあんなことするなんて。ちょっと考えられませんか。

トイレの女神さま、泣いちゃいましたもんね。

入口から2番目便器さんも、起こされました、あれで。やなもん見せられましたねー。